

お役立ち医療情報

第2話 お子様の病気に關して

今の季節、風邪が流行っていますが、特にお子様の病気に關して、
下記をよくお読み下さい。

Q：インフルエンザの急な高熱。家にある解熱剤を子供に飲ませても大丈夫？

A：インフルエンザは、重くて激しい症状が特徴です。普通の風邪と同じと考えないで下さい。急な高熱（39度～40度）に続いて、全身にだるさ、筋肉痛、関節痛、頭痛などがおきます。治療薬は発症から24時間以内に飲めば効果があるので、まずは病院で医師の診断を必ず受けて下さい。間違った服用は脳炎や脳症など恐ろしい合併症など引き起こす可能性も考えられますので、保護者の勝手な判断において解熱剤を飲ませる事は危険です。インフルエンザは、その他にも肺炎や中耳炎などの合併症を起こす可能性も高いですから、子供の症状を見て、「あれ？」と少しでも思ったら必ず医師に正確な状態を伝え医師の治療の支持に従って下さい。



Q：子供の風邪の初期症状で注意すべきことは？

A：咳と鼻水が風邪の始まりです。通常、咳は、長くても4～5日で収まりますが、体力を消耗していたりすると風邪が酷くなって熱が出る、気管支炎や肺炎などの病気になる可能性もあります。風邪はある程度、予防で防げる病気でもあるので、子供が帰宅したら、うがいと手洗いを義務付け室内の湿度や温度調整にも気を配りましょう。そして、食事は消化が良くエネルギー補給の出来るものを心がけ、栄養と水分補給にも気配りが必要です。この季節、野菜がたっぷり取れる「鍋料理」はお勧めです。



どんなに大人が気をつけていても子供は風邪をひくものです。そのお陰で免疫力が着いてくると言う事もありますが、出来るかぎりの予防を心がけましょう。